

非日常の舞台へ♪

ようこそ 芸術の空間へ

建築家・滝澤健児見学ツアー

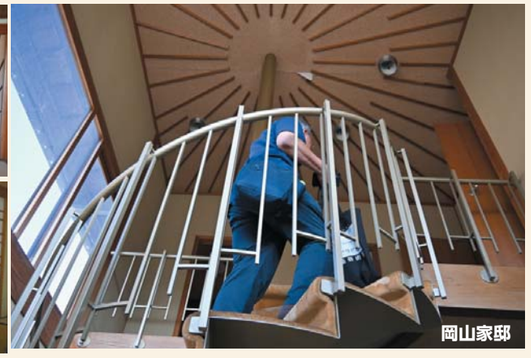
エナジーウィズホール

「建物に入ると大きなステンドグラスが気分を高め、階段を上がると白い枠をくぐり非日常の舞台へ――。建築家・滝澤健児のそんな意図が垣間見えます」。エナジーウィズホール（青少年センター）の特徴をこう解説するのは、近大高専の田中和幸教授（建築史）です。穏やかなアーチを描く芸術的な壁面について、「催しの余韻を楽しんでもらおうとしたのでは」と話し、参加者は建築の奥深い面白味を味わっていました。









岡山家邸

長野県出身の建築家・滝澤健児（昭和２年～平成 25 年）。エナジーウィズホールのほか、桔梗が丘市民センターや旧消防署、旧市役所などを手がけました。ツアーでは、元伊和新聞社（上八町）の敷地内にある「岡山家別邸」も訪問。らせん階段やふすまのあしらいなど、芸術を愛した滝澤らしさが光ります。



名張のまちなかには、初瀬街道沿いを中心に、15 施設 33 件もの登録有形文化財があります（10 月末時点）。歩いてみると、江戸時代から現役で活用されている「大和屋」や大正ロマン漂う洋館「川地写真館」など多彩な歴史の魅力に出会えます。ツアーでは「名張・まちづくりの会」による案内で、より一層歴史を身近に感じる時間に。

「名張建築芸術祭」で出会った

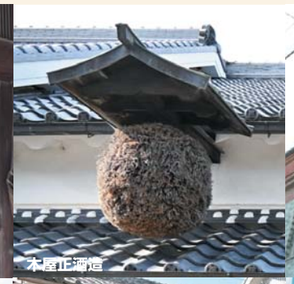
じもと再発見 なばりじまん

まちの名建築

10 月 11 日、名張の市街地一帯で２つの見学ツアーが開催されました。「名張建築芸術祭」の一環として、市内外から参加した延べ 19 人が、まちの歴史を刻む建築物を巡りました。


中井家住宅（元医院）


旧喜多藤（元料理旅館）


木屋正酒造



川地写真館


大和屋（和菓子店）



山中家住宅（kyucho hotel）


小川家住宅

歴史が迫るまち歩き

登録有形文化財ツアー

「気密や断熱を重視する現代では見られなくなった『無双窓』を知ってほしい」。そんな思いで、近大高専の学生が制作ワークショップを開催しました。「無双窓」は、小川家住宅などにもある伝統的な建具。内側の格子をスライドさせ、光や風の量を調整します。暮らしの工夫を知ると、まち歩きがもっと楽しくなりますね！


開


閉

